

始良市観光開発審議会 会議録

会 議 名	令和5年度第3回始良市観光開発審議会	
日 時	令和6年2月27日(火) 14時 開会	
会 場	始良市役所加治木総合支所 多目的ホール	
出 席 者	委 員	会長、委員10名
	市職員等	商工観光課長、商工観光課長補佐兼観光係長、観光係1名
会 次 第	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. 会長あいさつ 3. 協議 4. 閉会 	
協 議 事 項	<ol style="list-style-type: none"> (1)パブリックコメントについて (2)第3次始良市観光おもてなし計画素案について (3)その他 	
会 議 結 果 要 旨	<ol style="list-style-type: none"> (1) パブリックコメントについて <ul style="list-style-type: none"> ・特になし (2) 第3次始良市観光おもてなし計画素案について <ul style="list-style-type: none"> ・会議経過要旨のとおり (3)その他 <ul style="list-style-type: none"> ・来年度以降も、各団体の現状報告や情報交換等を目的として、年2回観光開発審議会を開催することとする。 	
会 議 経 過 要 旨	<p>(委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他市町村と比べて、Wi-Fiのスポットが少ない。Wi-Fiスポットを増やすということも計画に入れたらどうか。 <p>(委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・飲食業との連携が大事である。パブリックコメントについても、飲食業を含めた事業者の方々に意見をもらう方法もあったのではないかな。 ・観光協会の移転先について今から考えておかないと間に合わない。行政がきちっと作り上げ、それを観光協会に委託するというのを早急にやってほしい。整備の段階で1区画は観光案内所にするということを決めておかないと話が進まないのではないかな。 <p>(委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・物産館の設置について検討してほしい。 ・観光看板の清掃、整備も必要である。また、観光地整備のために土木担当課との連携もしてほしい。 	

会議結果要旨

- ・観光庁や県の補助金制度を活用できるように研究してほしい。

(委員)

- ・おもてなし計画について、手を広げ過ぎて、観光戦略の焦点が見えないというのを感じた。
- ・5年間の計画のなかで、どれを優先的にやっていくのか、前期2年間で何をして、後期3年間は何をするのか考えるべきである。
- ・観光のキーワードは楽しむこと。今までの観光は、施設をつくるなどでよかったが、そういう時代でなくなった。どういう形でその観光に付加価値をつけてアイデアを出すかである。

(委員)

- ・デジタル田園都市構想総合戦略推進会議でも、地域の個性や魅力を生かすということで総合戦略を5か年で作っている。観光は欠かせない部分であり、観光おもてなし計画とも重なってくる部分もあるが、互いに情報共有できているのか。

(委員)

- ・物産館について検討してほしい。
- ・さえずりの森キャンプ場と住吉池公園キャンプ村は、あまり魅力的なキャンプ場ではない。さえずりの森は、後ろの森林にフォレストアドベンチャーのようなアトラクションを作るのはどうか。住吉池公園キャンプ村も夏だけの開村になっているが、キャンプ好きな人はたき火など冬のほうが楽しめることが多い。1年を通して開村できたらもっと人が来ると思う。サウナにも入れるようなキャンプ場なども良い。

(委員)

- ・市外、県外からの集客でももちろんいいが、一番はインバウンドだと思う。例えば、大クスを見せたり、あご肉を食べさせたりなど、ささいなことでも外国人はおいしい、美しいと思うようだ。私たちが当たり前の常識と思っているものが、相手からするとやはり新鮮なものになる。国外から人を持ってこられることは強みになると思う。
- ・大きな旅館の誘致ができないのであれば、空き家を活用した民泊や簡易宿泊所などに市が補助金を出し、民間の方が副業といった形で収入を得る仕組み作りをするのはどうか。

会議結果要旨

- Airbnb（エアビー）というサイトでは、民泊や場所貸しの予約ができるが、その一方、体験型というものもあり、時間がある人たちによる観光客への観光案内にも予約ができる。
- 地域おこし協力隊が始良市の魅力を発信、拡散していく仕組みを作れば、広告費を抑えられるのではないかと。YouTubeやInstagramなどにアップすれば、勝手に広報してもらえる。ポスターを掲示しての広報よりも、実際に体験した方の投稿があれば、多くの人に広がっていく。

(委員)

- 合宿やコンベンションなどの誘致促進について、始良市にホテルがないというよりは既存のホテルとの格差が大きいと思う。スポーツ合宿において民泊を利用する際の補助金や宿泊補助金のような制度があれば、新たなホテルをつくらなくても合宿する人が来やすくなるのではないかと。
- 観光マップを外国語で作るのもいいが、飲食店支援のようなかたちでメニュー作りを手伝うのはどうか。翻訳アプリで翻訳したものは、ネイティブの人が見ると全然違う場合もある。地域が外国人を受入れしやすいように、市のバックアップが必要である。

(委員)

- 台湾からは、熊本まで直行便が復活している。ほぼ大型バスで決められたところを回っていて、なかなか地域の細かいところに行くことはない。大きなバスが入る宿や食事どころを利用するので、鹿児島では鹿児島市、指宿市、霧島市に泊まっている。始良市に泊まるのであれば、霧島よりも良いところでないを選んでもらえないし、霧島から鹿児島に行く途中にバスが停まる食事場所もない。それらを作るとなると、年間で予算をとることは難しいと思うので、この5か年計画の中でインバウンド事業に取り組むことはできないのではないかと。
- 垂水市や志布志市の観光課との事業では、県内の方に来てもらう日帰り旅行がメインになっている。あご肉などの食事、くも合戦の体験など、変わった体験や食事がまずは人を呼ぶことになると思う。
- 霧島市や鹿児島市に泊まってから始良市に来てもらうなど、隣のところと協力、連携したほうがよい。鹿児島県も熊本や宮崎と連携して、福岡からお客さんにとってこないといけないし、九州として関西からお客さんをとってこないといけない。

	<p>(委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 観光案内所を帖佐駅周辺に持っていきたいと考えている。それまでの移転先を協会員にお願いして探しているが、まだ決まっていはいない状況である。 ・ ふるさと会の方に始良市の情報が入っていない。始良出身の方に情報を入れて、向こうで地元をPRしていただくことも観光のPRにつながると思う。 ・ 始良市を通過する車は、4万～6万台くらい、人数にすると最低6万人くらいの方が往来されている。そのうちの1%、600人でもいいから始良に立ち寄ってもらえれば変わってくるのではないかと思う。1年先、2年先、さらには5年、10年先の始良の観光を考えていきたい。
<p>その他特記事項</p>	<p>なし</p>